

2019 年度 事業報告

(期間： 2019 年 4 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日)

1. 事業状況

(1) 顕彰事業（京都ヒューマン賞）

- ・ 2019 年度「京都ヒューマン賞」の贈呈式を 2019 年 6 月 4 日、リーガロイヤルホテル 京都にて、授賞者および授賞関係者はじめ、京都府や京都市、オムロン株式会社からの来賓、オムロン基金の役員や委員に出席いただき、盛大に開催した。

【2019 年度 授賞者・団体】

- ・ 山田尋志氏（社会福祉法人 リガーレ暮らしの架け橋 理事長、地域密着型総合ケアセンターきたおおじ 代表）
 - ・ 社会福祉法人 えのき会
 - ・ はだしのコンサート実行委員会
- ・ 上記贈呈式に先立ち、4 月 10 日に京都ヒューマン賞の授賞者決定のプレス発表を行った。
 - ・ 6 月 4 日、Facebook を通じて、「2019 年度 京都ヒューマン賞」贈呈式の開催について告知した。
 - ・ 8 月 29 日に「2020 年度 京都ヒューマン賞授賞候補者・団体を募集」について、プレス発表およびホームページで、9 月 5 日には京都府のメーリングリストにより告知を行った。また、11 月 6 日には京都府のメーリングリストにより、応募の締め切りが迫るとの告知を行った。
 - ・ 2020 年 2 月 12 日開催の選考委員会で「2020 年度 京都ヒューマン賞」の最終授賞候補者・団体（1 個人、2 団体）を選出し、3 月 11 日決議の第 36 回理事会（書面決議）にて授賞者・団体を決定した。

【2020 年度 授賞者・団体】

- ・ 工藤充子氏（特定非営利活動法人 ほっとスペースゆう 理事長）
- ・ 特定非営利活動法人 京都マック
- ・ 京都森林インストラクター会

(2) 助成事業

- ・ 2019 年度の一般助成事業は、申請数 49 件に対して助成実施は 43 件（前年度比 7 件減）、総額 5,601,000 円（予算比約 90 万円減、前年度比約 88 万円減）の助成を行った。
- ・ 2018 年度からスタートした子ども食堂への助成は、申請数 35 件に対して助成実施は 33 件と前年度と同数。助成金額は、年間の総利用者数により助成上限金額を設定して助成を実施したことにより、総額 4,539,000 円と前年度比約 158 万円増の助成を行った。予算 470 万円に対しては約 16 万円下回った。
- ・ 助成事業の合計金額では 1,014 万円と初めて 1,000 万円を超える助成金額となった。

2. オムロン基金の事業認知度向上のための広報活動

- ・ 子ども食堂助成制度の申請および実施報告の際の子ども食堂側の作業負荷の低減を図るとともに、健全な運営に向けて財政状態の透明性を高めるために、京都府と帳票の共用化につ

いて合意し、全面的な改訂を行った。このため、助成制度を紹介するパンフレットもページ数を増やして 2,000 部を作成し、子ども食堂および京都府、京都市、府内市区町村の関連部門、社会福祉協議会等に配布した。

- ・事務局長が新規に助成した子ども食堂 9 ケ所を訪問し、現状を視察するとともに意見交換を行った。
- ・オムロン基金の事業認知度を向上させるために、6 月にオムロン基金の活動内容と申請方法等を紹介する A4 判のチラシを改訂して 3 万枚作成し、府内市町村の関連部門や社会福祉協議会などの関係先等に送付した。
- ・京都府の地域力メーリングリスト（登録人数 約 1,900 名）を利用したメールおよびオムロン基金のホームページや Facebook への投稿、プレス発表を通じて、助成金制度や京都ヒューマン賞の候補者募集についての告知を行った。

3. 基本財産の債券購入

- ・基本財産のうち定期預金で保有していた 2,000 万円で 4 月 22 日、日本生命第 3 回劣後ローン流動化株式会社社債を購入した。購入後 10 年での期限前償還の見込み。利率は年 0.95%。
- ・基本財産のうち定期預金で保有していた 400 万円で 9 月 20 日、ソフトバンクグループ株式会社 第 56 回無担保社債を購入した。期間は 7 年間、利率は年 1.38%。

4. 経常収益

- ・当法人の収入は、基本財産の債券運用によって得られる運用益とオムロン株式会社株式 20 万株の配当金、オムロン株式会社からの寄付金によって構成されている。
- ・債券運用益は、満期を迎えた債券を定期預金で保有していたこともあり、前年度の 454 万円から 444 万円へ約 10 万円減少した。
- ・オムロン株式会社株式 20 万株の配当金収入は、配当金が 1 株あたり年間 84 円となり、1,680 万円となった。全額を当年度経常収益（公益目的事業会計）に計上した。
- ・オムロン株式会社から 200 万円の寄付をいただいた（法人運営費用として 200 万円）。全額を当年度の法人会計の経常収益に計上した。
- ・予算で計上していた事業積立資産 60 万円の取り崩しを行わず、一般正味財産の経常収益への計上を今年度は見送った。
- ・以上により、公益目的事業会計の経常収益額は約 1,857 万円、法人会計の経常収益額は約 466 万円、経常収益合計は約 2,324 万円となった（予算比約 148 万円減、前年度実績比約 100 万円増）。
- ・公益目的事業会計の収支相償は、約 66 万円の赤字。

5. 資金調達および設備投資

当期間において、資金調達のための借入れや重要な設備投資（除却又は売却を含む）はありません。

6. 対処すべき課題

- ・2019 年度の一般助成の申請数および助成金額が大幅に減少した。従来開催されていたイベントの中止が相次いだほか、他の助成金獲得等が理由だが、助成の在り方を検討していく。
- ・京都ヒューマン賞の授賞候補者・団体の発掘、助成制度の周知および助成制度の検証を引き続いて行う。

7. 京都府による立入検査報告

- ・2019年10月3日、京都府総務部 政策法務課 公益法人担当係官によるオムロン基金への定期立入検査が行われ、宮川専務理事と事務局長が対応した。

検査対象となった事業年度は、2015年度から2018年度の4事業年度。

検査結果は、運営面については非常に適正に運営がなされていると評価された。また、会計面では、法令、会計基準に反しているとする指摘事項はなく、特定資産の表記科目名称に関する注意事項1点にとどまった。

8. 理事会、評議員会、選考委員会等の開催

2019年4月18日 監事による監事監査（計算書類および事業報告等の監査）

2019年5月8日 第33回理事会（書面決議）

- 議案
- ・2018年度事業報告および計算書類承認の件
 - ・第16回定時評議員会招集の件

2019年6月4日 第34回理事会

- 議案
- ・株主権行使承認
 - ・京都府への事業報告等に係る提出書類承認
- 報告
- ・理事長および専務理事の職務執行状況報告

2019年6月4日 第16回定時評議員会

- 議案
- ・2018年度計算書類等承認
 - ・評議員の選任
- 報告
- ・2018年度事業報告
 - ・2019年度事業計画および収支予算の報告
 - ・株主権行使承認の報告

2019年9月6日 第35回理事会（書面決議）

- 議案
- ・選考委員の選任

2020年2月12日 2020年度「京都ヒューマン賞」選考委員会

- 議案
- ・京都ヒューマン賞 最終授賞候補者・団体の選考

2020年3月11日 第36回理事会（書面決議）

- 議案
- ・2020年度「京都ヒューマン賞」授賞者・団体承認
 - ・長期継続助成の承認
 - ・2020年度 事業計画および収支予算承認
- 報告
- ・2019年度 一般助成事業の状況報告
 - ・2019年度 子ども食堂助成事業の状況報告
 - ・2019年度 事業報告および決算見込み報告
 - ・理事長および専務理事 職務執行状況報告（資料で報告）

以上